

<告知> 2022年8月1日

7/31 (日) の実行委員会 (会長を含む) として検討した結果、今回の夏期大会は、「感染防止に十分配慮しつつ、予定通り、福岡大会会場と online 併用で開催することとしました。」但し、会期が迫っておりますが、今後、行政による行動制限や開催校からの要請による場合は、急遽、現地開催中止 (online のみの開催) の決定を行う可能性もあります。ご承知おきください。

現地参加の方には、別途、「感染拡大防止ガイドライン」と受付時にご提出頂く「健康観察報告」(記入用紙はメール連絡に添付、又は受付時に配布の予定)を含め、「現地参加に係るお願い」を、8/5 (金) 又は 6 (土) 迄に、メール配信致しますので、必ずご確認の上、ご参加ください。

また、プログラム詳細等については、8/5 (金) 又は 6 (土) 迄に、APEJ ホームページに掲載予定ですので、合わせて、ご確認ください。

なお、参加、発表登録締め切り後も、現地参加から online 参加への変更希望を受け付けます。新型コロナウイルス感染状況の悪化に伴い、既に現地参加登録 (チケット購入) 済の方で、online 参加への変更を希望される場合は、e-mail/ summer@apej.org へ、「online 参加へ変更」の連絡をお願いします。

以下、8月5日現在の確定情報に基づき、概要 (最終版) をお知らせします。今後、詳細等追加情報は、物理教育研究会 APEJ ホームページ <https://apej.org/> 又は 参加予定者宛のメール配信等にて、順次お知らせします。

主催：物理教育研究会 (APEJ) / 共催：日本物理教育学会九州支部 / 協力：福岡大学 (理学部)

テーマ：今、改めて授業における「実験」の意義を考える

この2年間以上に及ぶコロナ禍において、リモート授業も余儀なくされながら、会員諸氏が最も苦勞し、工夫を凝らしたのが、授業への「実験」の導入ではないかと思えます。当たり前には生徒実験ができなかった状況だからこそ、「授業における実験」の意義が確認され、多くの工夫・実践が生み出されたのではないかと考えられます。

また、「授業中に扱った実験をどう定期試験で問うているか」「レポート課題による評価をどのように成績に取り入れているか」もポイントになると思われまます。「科学をどう教えるか」でも「テスト」は重要なファクターであることが示されていますので、「実験の評価」「実験による評価」も重要な視点になるのではないのでしょうか。

日程：2022年8月8日 (月) 午後、9日 (火) 終日

→ 初日は13:00 開会 (12:30 受付)、二日目は16:00 閉会 を見込んでいます。

(参考) 8月11日 (木)、12日 (金) が日本物理教育学会研究大会、8月10日 (水) は評議員会 (於：長崎大学)。

プログラム：プログラム詳細等については、8/5 (金) 迄に、APEJ ホームページ参加者用認証ページに掲載する予定です。認証ページへのアクセス方法は、参加予定者へ、別途メール配信にて、お知らせします。

初日 8月8日 (月)：

12:30 受付 / (13:00 開会) 13:00-13:15 オープニング / 13:15-14:15 参加者発表 (4) /

14:30-15:45 企画講演 ①~③ / 16:00-16:45 グループ討論 / 17:00-17:30 総合討論

* 初日プログラム終了後に予定していた「懇親会」は、中止とします。ご了承ください。

二日目 8月9日 (火)：

09:00 受付 / 09:15-10:30 参加者発表 (5) / 10:45-11:45 特別講演 /

11:50-12:10 ポスター (ちょい枠) 概要紹介 / (業者展示・昼休み) / 13:30-14:45 参加者発表 (5) /

15:00-15:40 現地企画 / 15:45-16:00 クロージング (16:00 閉会)

・二日目に紹介枠を設けた「ポスター発表 (ちょい枠)」は、online 上でのセッションです。

→ 閲覧、質疑の方法については、参加予定者へ、別途メール配信にて、お知らせします。

・「企画講演」として、①「まずはやってみよう！実験授業」、②「online 及びハイブリッド環境下での生徒・学生実験の実践」、③「実験評価に関する実践例」を、それぞれ、今和泉卓也氏 (筑波大学附属駒場中学高校)、匠正治氏 (福岡大学)、西村壘太氏 (東京学芸大学附属高校) からご報告頂きます。これら話題も踏まえて、参加者のグループ討論そして全体討論を行うことで、大会テーマでもある「授業における「実験」の意義」について考えたいと思えます。

- ・「特別講演」としては、福岡大学の若手研究者である大前宣昭氏より「超高精度な光格子時計による東京スカイツリーでの相対性理論の検証実験」と題して、お話し頂きます。
- ・「現地企画」については、平松康信氏（福岡大学）より、地元福岡及び九州エリアでの「科学広場」や「理科教室」などの展開について、実践例を含めた紹介をして頂く予定です。

会 場： 福岡大学理学部 + online (zoom) 併用

→ キャンパス内の会場案内、感染防止ガイドラインなどは、会場参加予定者へ、別途メール配信にて、お知らせします。

→ 今回は、会場の無償提供を含め、福岡大学理学部の全面的なご協力の下での開催です。

今後、行政による行動制限や開催校からの要請がある場合は、急遽、現地開催中止（online のみの開催）の決定を行う可能性もあります。ご承知おきください。

福岡大学 <https://www.fukuoka-u.ac.jp/>

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目 19-1 / 最寄駅：地下鉄七隈線「福大前」

アクセス：「福岡空港」又は「博多」駅より 地下鉄空港線 利用、「天神」駅から 天神地下街を徒歩約 8 分で「天神南」駅へ乗り換え、地下鉄七隈線 利用

* 七隈線「天神南－博多」間延伸（直結）工事中（2022 年度完成予定／8 月に間に合わず、残念...）

<注> 会場無償提供の都合で、大学のネットワークのゲスト ID 発行、接続はできません。会場への参加者が個人 PC の online 接続を希望する場合は、各自持参の wifi ルーターやスマートフォンのテザリング機能等の利用をお願いします。

申 込： 事前参加登録（チケット購入制）

参加登録、発表申込は、参加、発表共に、7 月末日を以て締め切りました。

現地参加か、online 参加か、また、発表予定の有無に関わらず、必ず、期限までの APEJ ホームページからの事前参加登録が必要です。（発表申込は、参加登録後に、別途必要です。）

なお、口頭及びポスター発表希望数の関係で、口頭からポスター、又はポスターから口頭への変更（転換）をお願いする場合があります。

参加、発表登録締め切り後も、現地参加から online 参加への変更希望を受け付けます。新型コロナウイルス感染状況の悪化に伴い、既に現地参加登録（チケット購入）済の方で、online 参加への変更を希望される場合は、e-mail / summer@apej.org へ、「online 参加へ変更」の連絡をお願いします。

APEJ（物理教育研究会）非会員の参加を歓迎しますが、参加者発表は、本会（物理教育研究会）会員のみとさせていただきます。（グループ討論や全体討論には、非会員の参加者にもご参加頂きます。）なお、本会入会申込中の方、及び共催（後援）団体会員の方は、会員に準じて、参加者発表も可能とします。

この機会に、是非、現地福岡、九州、並びに全国の多くの皆さんに、APEJ にご参加頂けることを願っております。APEJ（物理教育研究会）の活動や入会方法などについては、ホームページをご覧ください。また、過去の研究会機関紙「物理教育通信」の掲載記事は、J-STAGE でご覧になれます（「物理教育通信 J-STAGE」で検索可）。

参加費： 2,000 円

→ 会場参加と online 参加の別、一日参加と二日間参加の別は、設定しません。学生の参加費については、半額（1,000 円）とします。「参加登録時」時に決済をお願いします。なお、原則として、**決済後の返金はありません。**

大会実行委員会 <5 月 31 日現在> 問い合わせなどは、e-mail / summer@apej.org へお願いします

林壮一（実行委員長／福岡大学）、井上賢（副委員長／駒場東邦中学高校）、柴崎幸貴（事務局長／西南学院中学高校）、長船圭宏（庶務会計／駒場東邦中学高校）、松岡雅忠（online 担当／福岡大学）、市原光太郎（online 担当／駒場東邦中学高校）、西村墨太（online 担当／東京学芸大学附属高校）、落合道夫（福岡女学院中学高校）、今井章人（ポスター担当／早稲田中学高校）、小川慎二郎（早稲田大学高等学院）、平松康信（福岡大学）、増子寛（元麻布中学高校）

以上